

令和3年度 学校教育自己診断（考察）

【回収率】

教職員：100% 保護者：77%（前年比6ポイント増）

【各設問項目】

1. 保護者

肯定率90%以上の評価をいただいた項目の割合は全33項目の設問に対し31項目（昨年度と同様）について高い肯定的評価をいただいています。

昨年度同様、今年度につきましてもコロナ禍の中、保護者の皆様のご協力をいただきながら進めてきた本校の取り組みに対して評価いただいているものと受け止めています。

ですが、未だすべての取り組みが通常通りに実施できているわけではなく、特に参観等、普段の子どもたちの学習の様子を充分にお伝えできていない現状です。関連する項目として「11 他校との交流」については昨年度に引き続き実施を見合わせていることから10ポイント以上評価をさげています。「22 学校ホームページ」については昨年度同等の80%以上の肯定的評価をいただいています。評価の上昇には至っておらず、まだまだ活用についての工夫が必要だと認識しています。

記述回答については、先にも触れましたように、普段の子どもたちの学習の様子を画像等で発信する機会の充実について、多数のご意見をいただきました。学校ホームページの活用、授業参観、体育祭、文化祭などの学校行事の公開時の工夫や発信の仕方なども併せて、関連する各部署と課題を共有し取り組みの充実や改善に努めてまいります。

2. 教職員

肯定率90%以上の評価項目は全33項目中9項目、肯定率80%以上の評価項目を加えるとトータル21項目（昨年度と同程度）について、肯定的な自己評価を得ています。

その中で「11 校種間連携」についてはコロナ禍により実施されていないことから17ポイント評価を下げています。また「2 教育理念、学校運営方針の共有」、「7 教育活動評価」についても10ポイント前後評価を下げており、校内体制の整理を進める一方で、コロナ禍の影響などにより急な変更や再検討を要する場面も増え、全体への共有と引継ぎに対する課題が明確になったものと考えています。反対に「21 防災関連」については20ポイント以上評価が好転しています。災害時の備蓄が以前に比べて充実してきたことや、職員の実働避難訓練の実施など災害時への備えについて考える機会が増えたことによるものだと考えています。

記述回答については、特定の教員への業務の集中や偏りについての改善、業務の引継ぎを含め情報共有の明確化、分業化、効率化への指摘がありました。また、校内体制作りにおける教員配置についても、業務偏重をきたさない配置をもとめる指摘があがっています。業務偏重の解消、業務の効率化や明確化については、会議時間の短縮や校内組織のスリム化、効率的な校務の分業化に今後も引き続き取り組んでまいります。

ご意見欄 （要約）

【保護者】

- ・ 建物の老朽化への対応や建て替えについてのご要望。
- ・ 普段の授業の様子を見られる機会（学校 HP などを活用して）の拡充。
- ・ 防災についての取り組みの拡充。
- ・ 近年の学習内容整理に伴う支援計画等の変更についての共有と理解の拡充。
- ・ PTA 役員等の選出方法について検討のご要望。

【教職員】

- ・ 業務の偏りの改善、効率化や負担軽減のための体制づくり。
- ・ 各部署の運営について協働体制の見直し。
- ・ 業務の引継ぎを確実にできるよう仕組みの改善。
- ・ 学部体制の見直し。
- ・ 評価等の指針の見直し。
- ・ 現行の教室利用についての見直し。